

令和4（2022）年度

学習ナビ

（学習の手引き）



丹波篠山市立西紀中学校

授業科目名	国語	対象	3年生
担当教員	北村 啓	受講教室	3A教室
週当たり時数	3 (年間105時間)		
到達目標			
(1) 国語に関心を持ち、進んで自己の学びに活かそうとする (2) 言語について正しく理解し、コミュニケーションのための技能を身につけている (3) 課題解決するために、内容を理解し、自分の考えをまとめて話したり、適切に文章に書いたりすることができる			
授業方法	講義、対話等の体験活動、表現活動		
○講義：授業者が板書、スライドショー、映像など様々な資料を用いて説明する ○体験・表現：話し合い活動や作文や日々の振り返りコメントなど			
授業計画・内容			
1学期	2学期	3学期	
○生命は ○二つのアザミ ○俳句の読み方、味わい方 句会を開こう ○言葉の移り変わり ○熟語の構成・熟字訓 ○文法の復習 ○書写 ○形 ○絶滅の意味 ○四字熟語 ○百科事典少女・風の唄 ○連語、慣用句 ○送り仮名 ○書写 (硬筆の楷書、行書)	○万葉集・古今 (新古今) 和歌集 ○奥の細道 ○論語 ○自分の思いを伝えよう ○古典の言葉を味わおう ○紛らわしい漢字 ○間違えやすい敬語 ○文法の復習 ○初恋 ○主張を書こう ○黄金の扇風機、サハラ砂漠の茶会 ○和語、漢語、外来語 ○間違えやすい言葉 ○観察、分析して論じよう	○故郷 ○漢字いろいろ ○何のために働くのか ○新しい常用漢字 ○いつものように新聞が届いた ○話し合いで問題を解決しよう ○レモン哀歌、生ましめんかな ○最後の一句 ○今の思いをまとめよう	
休業中	・ 文法ワーク、国語のワーク ・ 読書感想文、人権作文		
みなさんへのメッセージ	国語は、すべての学びの基本です。どの教科も日本語 (国語) の力が必要です。そして、国語の力=「読む・話す・聞く・書く・言語の知識」の力です。国語の力がつくと、「学ぶ力が向上した」ことになります。他の教科やこれからの多くの学びに役立つよう、進んで取り組んでいきましょう。		
評価方法			
知識、技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む力	
・ 定期テスト (5回) ・ 書写作品 ・ 小テスト (漢字、文法)	・ 定期テスト (5回) ・ 朗読テスト、小作文 ・ 読書感想文 ・ 話し合い活動、スピーチ	・ 授業での意見発表や態度 ・ 漢字ノート ・ 提出物	
授業・評価についての留意事項	国語の力は生活の中で、多くの人と『言葉』でつながっていける力のことを言います。そのために、多くの人に伝わる正しい言葉を習得し、使えることが必要です。積極的に、多くの文章・語句に触れ、自分の考えをもち、その意見や考えを書いたり、話したり、交流できるように学んでいきます。		
使用教材	教科書 (東京書籍)、つまづかない文法ワーク、国語のワーク、国語活用資料集、ノート、漢字ノート、		

授業科目名	社会	対象	3年生
担当教員	細見 周平	受講教室	3A教室
週当たり時数	4 (年間140時間)		
到達目標			
<p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>			
授業方法	講義、演習		
○講義：授業者が板書、スライドショー、映像など様々な資料を用いて説明する。			
○演習：地形図や年表、図表をもとに、その現象の意味を考察する。			
授業計画・内容 (前年度からの続きを行うため、一部変更あり)			
1学期	2学期	3学期	
○歴史分野 ・第一次世界大戦と戦後の世界 ・大正デモクラシーの時代 ・世界恐慌と中国との戦争 ・第2次世界大戦と日本 ・平和と民主化への動き ・国際化する世界と日本 ○公民分野 ・私たちが生きる現代社会の特徴 ・現代社会の文化と私たち ・現代社会をとらえる見方や考え方	○公民分野 ・法に基づく政治と日本国憲法 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の平和主義 ・民主政治と政治参加 ・暮らしをささえる地方自治 ・国の政治のしくみ ・消費生活と経済のしくみ ・生産の場としての企業 ・金融のしくみとお金の価値	○公民分野 ・財政と国民の福祉 ・国際社会の課題と私たちの取り組み ・3年間の復習	
休業中	・ワーク (基礎基本の定着)、レポート課題 (税の作文等)		
みなさんへのメッセージ	3年生は、近現代史と公民の内容が中心です。歴史の中でも特に難しい範囲になるので、授業後にコツコツとワークなどを解きながら重要語句の定着をはかっていきましょう。また、1・2年生で学習した地理の学習内容に触れる機会が減るので、長期休業などを使って計画的に振り返っていきましょう。		
評価方法 (それぞれを等価で評価し、最終的な評価を決定する)			
知識、技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む力	
・定期テスト ・ワークシート (振り返り) ・小テスト	・定期テスト ・ワークシート (振り返り) ・レポート課題	・定期テスト ・発表、授業の様子、提出物 ・ワークシート (予習・メモ) ・小テスト	
授業・評価についての留意事項	次の授業に向けて予習課題に取り組み、目標や課題意識を持って授業に臨みましょう。また、授業中に出された課題などは確実にやり、提出しましょう。最初から答えを見たり、友だちに見せてもらったりするのではなく、自分の力で取り組むことで力が付きます。テストだけでなく、日々の授業プリントにも丁寧に取り組みましょう。		
使用教材	教科書【歴史・公民】(日本文教出版)、社会の自主学习【歴史2・3】(新学社) 社会の自主学习【公民】(新学社)、授業プリント、ファイル		

授業科目名	数学	対象	3年生
担当教員	山田 啓人・中野 美穂	受講教室	3A教室・学習室A
週当たり時数	4（年間140時間）		
到達目標			
<p>(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。</p>			
授業方法	講義、演習		
<p>○講義：授業者が板書、映像など様々な資料を用いて説明する</p> <p>○演習：ワークなどを用い、演習問題に取り組む。</p>			
授業計画・内容（一部変更はあり）			
1学期	2学期	3学期	
<p>○式の展開と因数分解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式の展開と因数分解 ・式の計算の利用 <p>○平方根</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平方根 ・根号をふくむ式の計算 <p>○二次方程式、二次関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次方程式とその利用 ・関数とグラフ 	<p>○二次関数の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値の変化 ・いろいろな事象と関数 <p>○図形と相似</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形と相似 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の計量 ・相似の利用 <p>○円の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円周角と中心角 ・円の性質と利用 	<p>○三平方の定理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理とその利用 <p>○標本調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標本調査 <p>○3年間の総復習・入試対策</p>	
休業中	・クリアノートワーク、3年間の総まとめワーク、プリント		
みなさんへのメッセージ	<p>計算問題は、量をたくさんこなし、自分のつまずきポイントを知り、ケアレスミスをなくしていきましょう。図形や関数などの総合問題は、まず問題文の意味を理解し、今まで学んだ事柄をどのように用いるか考え、じっくり粘り強く解答を導いていきましょう。</p>		
評価方法（それぞれを等価で評価し、最終的な評価を決定する）			
知識、技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む力	
<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、ワーク ・プリント ・定期テスト ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、ワーク ・プリント ・定期テスト ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表、授業中の様子 ・ノート・ワーク ・プリント ・定期テスト 	
授業・評価についての留意事項	<p>次の授業に向けて予習に取り組み、目標や課題意識を持って授業に臨もう。その日やった問題はその日のうちにマスターしましょう。わからないときは、どこがわからないのかを明確にし、質問しよう。出された宿題は必ずしましょう。また、宿題だけではなくワークなども活用しましょう。</p>		
使用教材	<p>未来へ広がる数学（啓林館）、クリアノートワーク、3年間の総まとめワーク 小テストプリント、ノート、ファイル</p>		

授業科目名	理科	対象	3年生
担当教員	山本 孝一	受講教室	理科室・3A教室
週当たり時数	4（年間140時間）		
到達目標			
<p>(1) 自然現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身につける。</p> <p>(3) 自然現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする力を身につける。</p>			
授業方法	講義、演習		
<p>○講義：授業者が板書、スライドショー、映像など様々な資料を用いて説明する</p> <p>○演習：自然現象の再現実験及び観察を行う</p>			
授業計画・内容（一部変更はあり）			
1学期	2学期	3学期	
<p>○生命の連続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の成長とふえ方 ・遺伝の規則性と遺伝子 <p>○化学変化とイオン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水溶液とイオン ・酸・アルカリと塩 <p>○運動とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のつり合い ・物体の運動 	<p>○運動とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり ・エネルギー資源とその利用 <p>○宇宙の中の地球</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球とその外側の世界 ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方 <p>○自然と人間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然界のつながり ・人間と環境 ・自然が人間の生活に及ぼす影響 	<p>○自然と人間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学技術と人間 ・科学技術の利用と環境保全 <p>○入試対策（復習を含む）</p>	
休業中	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク（夏、冬）→入試対策 ・自由研究（夏）→科学的思考力の育成 		
みなさんへのメッセージ	<p>自然科学とは何か？私たちの身の回りで起きる現象の理由を考えることです。中学校の間には4つの領域を1つの教科として学習します。それぞれの視点で得られた知見をもとに、自然現象について考えていきましょう。</p>		
評価方法（それぞれを等価で評価し、最終的な評価を決定する）			
自然事象への知識、実験技能	科学的思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む力	
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（5回） ・小テスト（不定期） ・実験レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験レポート ・ディスカッション課題 ・定期テスト（5回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での意見発表や態度 ・授業の振り返り ・授業のノート記入 ・定期テスト（5回） 	
授業・評価についての留意事項	<p>授業では予習課題を設け、予習していることを前提に授業を進める。また、定期的にワーク等の課題を行い、提出を求め、学習内容の定着を確認する。毎時の授業のめあてに対する振り返りを蓄積し、評価に反映する。</p>		
使用教材	<p>未来へ広がるサイエンス3（啓林館）、3年間の総整理問題集（正進社） ノート（各自で用意）、ワークシート（授業で配布）</p>		

授業科目名	音楽	対象	3年生
担当教員	川崎 里佳	受講教室	音楽室
週当たり時数	1 (年間35時間)		
到達目標			
<p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>			
授業方法	講義、実技、鑑賞、グループワーク		
<p>○講義：授業者が板書、スライドショー、映像、音源など様々な資料を用いて説明する</p> <p>○実技：歌唱、器楽等の練習、演奏を行う。創作活動を行う。音楽を鑑賞し、特徴や曲想を感じ取る。</p>			
授業計画・内容 (一部変更はあり)			
1学期	2学期	3学期	
<p>○オリエンテーション</p> <p>○歌唱 「心の歌」 ・花 ・花の街 ・早春賦</p> <p>○器楽 「ギター」 ・大きな古時計</p> <p>○鑑賞 ・組曲「展覧会の絵」から ・ブルタバ</p> <p>○創作 ・旋律をつくろう</p>	<p>○歌唱 ・混声3部合唱曲 ・帰れソレントへ</p> <p>○鑑賞 ・曲の背景を知って、名曲を味わおう。 ・雅楽 平調「越天楽」 ・能 ・世界の諸民族の音楽</p> <p>○創作 ・リズムアンサンブル</p>	<p>○鑑賞 ・ポピュラー音楽 ・音楽史</p> <p>○歌唱 ・混声3部合唱曲</p> <p>○著作権</p>	
休業中	音楽をたくさん聴こう 学習課題はなし		
みなさんへのメッセージ	・音楽では読譜や演奏技能など表現するための基礎知識を学びます。また、どのように表現するかについて思いや意図をもって、音楽の良さや美しさを味わって聞いたりします。次の授業に向けて予習課題に取り組み、目標を持って授業に臨みましょう。		
評価方法 (それぞれを等価で評価し、最終的な評価を決定する)			
自然事象への知識、実験技能	科学的思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む力	
<p>・定期テスト (3回)</p> <p>・小テスト (不定期)</p> <p>・ワークシート・創作課題</p>	<p>・ワークシート・創作課題</p> <p>・プレゼンテーション課題</p> <p>・定期テスト (3回)</p>	<p>・授業での意見発表や態度</p> <p>・ワークシート・創作課題</p> <p>・定期テスト (3回)</p>	
授業・評価についての留意事項	授業では歌唱や器楽における演奏の基礎と実技、その他鑑賞、創作について学習する。定期テストや実技テスト以外に、授業の中で用いるワークシートを評価 (観点別) に加える。また、練習中の姿勢や技能表現等も評価に加える。実技や鑑賞等、その時間のみ実施のものも多いため、欠席者は授業者に必ず授業内容を確認すること。		
使用教材	中学生の音楽 2.3 の下、中学生の器楽 (教育芸術社) キミウタ (教育芸術社)・ワークシート (授業で配布)		

授業科目名	美術	対象	3年生
担当教員	沖本 夏美	受講教室	美術室
週当たり時数	1 (年間35時間)		
到達目標			
<p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。</p> <p>(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>			
授業方法	講義、実技、鑑賞、グループワーク		
<p>○講義：授業者が板書、スライドショー、映像、実演など様々な資料を用いて説明する</p> <p>○実技：美術に関する表現活動及び鑑賞を行う</p>			
授業計画・内容 (一部変更はあり)			
1学期	2学期	3学期	
<p>○オリエンテーション</p> <p>○墨が生み出す豊かな世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水墨画 <p>○鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴッホ 	<p>○消しゴムはんこをつくろう</p> <p>○鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琳派 ・ジャクソン・ポロック 	<p>○季節を楽しむ心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和菓子とは ・和菓子づくり <p>○鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レオナルド・ダ・ヴィンチ 	
休業中	ポスター課題、美術に親しむ		
みなさんへのメッセージ	美術では、作品を作るための道具の使い方や表現方法について学びます。また、作品を鑑賞して作者の思いや意図を感じ取り、美術の良さや美しさを感じ取る活動を行います。美術に明確な「答え」はないので自由に自分の思いを表現しましょう。		
評価方法 (それぞれを等価で評価し、最終的な評価を決定する)			
表現及び鑑賞の知識、技能	美術的思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む力	
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト (3回) ・作品、ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト (3回) ・作品、ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト (3回) ・作品、ワークシート ・授業での意見発表や態度 	
授業・評価についての留意事項	定期テスト、完成作品、ワークシート、授業態度 (作品の期日を守る、授業に取り組む姿勢など) から総合的に判断する。		
使用教材	美術2・3上 (日本文教出版)、美術2・3下 (日本文教出版) 美術資料・兵庫県の美術 (秀学社)、ワークシート (授業で配布)		

授業科目名	保健体育科	対象	3年生
担当教員	足立 良輔	受講教室	運動場・体育館・プール・教室
週当たり時数	3（年間105時間）		
到達目標			
<p>(1) 運動の楽しさや喜びを味わうことができ、健康・安全についての学習を主体的に取り組んでいる。</p> <p>(2) 運動及び健康・安全について、理論的・科学的に理解し、運動の特性に応じた技能を習得している。</p> <p>(3) 運動及び健康・安全について、自他の課題を発見し、課題解決の方法を考え、実践することができる。</p>			
授業方法	実技、講義		
<p>○実技：誰もが安心・安全に取り組める方法で、目標に向けて練習を重ねる。</p> <p>○講義：授業者が板書、スライドショー、映像など様々な資料を用いて説明する。</p>			
授業計画・内容（一部変更はあり）			
1学期	2学期	3学期	
<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に行うための方法 ・授業のルール <p>○跳び箱運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技を組み合わせて演技会 <p>○陸上競技（リレー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなバトンパス <p>○プール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長く泳ぐ ・速く泳ぐ 	<p>○球技（バスケットボール）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールをコントロールする ・簡易ゲーム <p>○球技（ソフトボール）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作 ・簡易ゲーム <p>○球技（サッカー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作 ・簡易ゲーム 	<p>○ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを、体を使って表現する。 <p>○剣道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作 <p>○陸上競技（長距離走）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸法 ・全身持久力の向上 <p>（通年）○保健分野／体育理論</p>	
休業中	規則正しく生活する。		
みなさんへのメッセージ	保健体育は、体育実技だけではなく、保健分野も学習し、体のことや環境のこと、感染症のことなどを学習します。生涯にわたって健康な生活ができるように、一緒にがんばりましょう。		
評価方法（それぞれを等価で評価し、最終的な評価を決定する）			
知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む力	
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（3回） ・小テスト（不定期） ・実験レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験レポート ・授業での話し合い活動 ・定期テスト（3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での意見発表や態度 ・授業のノート記入 ・定期テスト（3回） 	
授業・評価についての留意事項	<p>実技教科のため、授業には積極的に参加しましょう。苦手意識がある人も多いと思いますが、他者と評価するのではなく、自分がどれだけ成長したかを評価します。</p> <p>また、定期的にワークの提出を求めます。これも評価（主体的に学習に取り組む力）に加えます。欠席者は授業者や友だちに授業の内容を確認するようにしましょう。</p>		
使用教材	<p>新版中学校保健体育（大日本図書）</p> <p>中学体育実技（学研）、 中学保体資料ノート（正進社）</p>		

授業科目名	技術	対象	3年生
担当教員	中岡禎雄	受講教室	技術室
週当たり時数	0.5 (年間 17.5 時間)		
到達目標			
<p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し表現するなど課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>			
授業方法	講義、演習		
<p>○講義：授業者が板書、実験、映像資料を用いて学習活動を行う</p> <p>○演習：模型の製作を通してエネルギー変換の技術についての知識と基礎的な技能の習得に取り組む</p>			
授業計画・内容 (一部変更はあり)			
1 学期	2 学期	3 学期	
<p>○オリエンテーション</p> <p>技術の見方考え方</p> <p>○エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動力伝達の仕組み ・運動を変化させる仕組み <p>○機械部品の適切な使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通部品と規格 ・工具の使用法 	<p>○製作品の設計と製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作の目的 ・製作品の決定と構想の検討 ・構想のまとめ ・製作 ・製作における評価と検討 	<p>○情報に関する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する技術とその役割 ・情報通信ネットワークの利用と情報セキュリティー ・プログラムによる計測・制御 <p>○3年間の学習のまとめ</p>	
休業中	・自由研究または製作 (夏季・冬季休業) →生活を工夫し創造する資質能力の育成		
みなさんへのメッセージ	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ持続可能な社会をつくるために授業で生活を工夫し、創造する知識や技能を身に付けていきましょう。		
評価方法 (それぞれを等価で評価し、最終的な評価を決定する)			
知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む力	
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト (3回) ・ワークシート ・製作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート ・構想計画表 ・製作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートレート ・レポート ・学習発表 ・自由研究または製作 	
授業・評価についての留意事項	技術に関する原理・法則、基礎的な技術の仕組みを理解するための課題を設定し、課題解決に向けた製作活動 (知識習得、構想、課題解決活動、まとめ) といった学習活動全般を通して評価を行う。		
使用教材	教科書、ノート (各自で用意)、ワークシート (授業で配布)		

授業科目名	家庭科(A家族・家庭生活C消費生活)	対象	3年生
担当教員	遠山久美子	受講教室	被服室・3A教室
週当たり時数	0.5(年間17.5時間)		
到達目標			
<p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境について生活の自立に向けて理解し、技能を身につける。</p> <p>(2) 生活の中から問題を見だし、これからの生活を展望して課題を解決する能力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族・家庭生活と地域との関わりを考え、家族とともによりよい生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>			
授業方法	講義、実習		
<p>○講義：授業者が板書、スライドショー、映像など様々な資料を用いて説明する</p> <p>○実習：幼児の心を豊かにする小物作りを行う</p>			
授業計画・内容(一部変更はあり)			
1学期	2学期	3学期	
A家族・家庭生活 2. 幼児の生活と家族 幼児のころと今の自分 幼児の体の発達・心の発達 発達にとってのおとなの役割 幼児の心を豊かにする小物作り	幼児の遊びが必要なわけ 遊びを支える環境 3. 幼児とのかかわり ふれあい体験の前に ふれあい体験・ふれあい体験は幼児からの贈り物 子供の成長と地域 持続可能な家庭生活をめざして	C消費生活・環境 家庭生活における収入と支出 いろいろな購入方法 購入前に知っておくこと・売買契約 消費行動が社会に与える影響 世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ 3年間のふりかえり	
休業中	・家庭生活上で仕事を手伝う。		
みなさんへのメッセージ	食べて、着て、寝て、家族と暮らしていること、成長している自分など、ふだんは当たり前すぎて、自分の家庭生活をふりかえることはあまりないかもしれません。知識や技能に正解はあっても、それを生活で自分がどう考え、使うのか、正解は自分が興味を向けて見つけていくことです。予習や復習は日々の生活であり、授業を通して深めていきましょう。		
評価方法(それぞれを等価で評価し、最終的な評価を決定する)			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む力	
・定期テスト(3回)	・製作物 ・課題レポート ・定期テスト(3回)	・授業での意見発表や態度 ・授業のノート記入 ・定期テスト(3回)	
授業・評価についての留意事項	ワークの提出をする場合もある。これも評価(主体的に学習に取り組む力)に加える。欠席者は授業者に必ず授業の内容を確認すること。		
使用教材	教科書、家庭科総合ノート(明治図書) 兵庫県技術・家庭科ハンドブック		

授業科目名	英語	対象	3年生
担当教員	遠山久美子 森田恭弘	受講教室	3A教室・学習室B
週当たり時数	4（年間140時間）		
到達目標			
<p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>			
授業方法	講義、演習		
<p>○講義：授業者が板書、デジタル教科書、パワーポイント、映像など様々な資料を用いて説明する</p> <p>○演習：実際のスピーチを聞いたり、互いに英語で話し合ったりする</p>			
授業計画・内容（一部変更はあり）			
1学期	2学期	3学期	
Unit 0 Three Interesting Facts about Languages Unit 1 Sports for Everyone Let's Write 1 有名人への手紙 Let's Listen 1 ディスカッション Unit 2 Haiku in English Let's Talk 1 はじめての出会い Let's Listen 2 講演 Unit 3 Animals on the Red List Let's Write 2 記事への意見 Let's Read 1 A Mother's Lullaby	Let's Listen 3 ラジオの災害情報 Unit 4 Be Prepared and Work Together Let's Talk 2 町中での手助け Learning CIVICS in English Let's Listen 4 テレビの国際ニュース Unit 5 A Legacy for Peace Let's Write 3 グラフや表の活用 Stage Activity 2 Discover Japan Let's Listen 5 世界で働く人へのインタビュー Unit 6 Beyond Borders Let's Talk 3 食品の選択 Let's Listen 6 中学校生活の思い出	Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate. Let's Read 2 Power Your Future Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs 入試対策問題	
休業中	・ワーク		
みなさんへのメッセージ	英語は教科である前に「言語」です。自分の思いや考え、事実を伝える手段の1つなのです。また、英語の教科では、「積み木」のように学習したことを積み重ねていくことが大事になってきます。単語が書けると文が書けるのです。		
評価方法（それぞれを等価で評価し、最終的な評価を決定する）			
知識、技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む力	
・単語テスト・長文読解小テスト ・リスニングテスト ・定期テスト	・授業での音読、発表 ・インタビューテスト ・プレゼンテーション ・定期テスト	・発表 ・インタビューテスト ・提出物	
授業・評価についての留意事項	授業を一番大事にします！積極的に発表し、発音や音読をくり返すことで英語がインプットされていきます。予習で単語の意味を調べ、授業前に教科書の長文を読解して授業に臨みましょう。復習では単語や英文を書いて理解を深めましょう。英語で即興に表現する活動もします。意欲的にペア&スピーキング練習をし、表現活動で力を伸ばしましょう。ALTの先生とも会話し、コミュニケーション力を高めましょう。		
使用教材	New Horizon 3（東京書籍）、ノート、ファイル、ワーク		